

## 平成26年度幕張西地区区民対話会 議事要旨

- 1 日時 平成26年11月30日(日) 13:30～15:30
- 2 場所 幕張西公民館 講堂
- 3 参加者 区民 29人、区職員5人  
(参加区民の所属団体)  
第30地区町内自治会連絡協議会、社会福祉協議会幕張西地区部会、  
第606地区民生委員・児童委員協議会、  
幕張西中学校区青少年育成委員会、幕張西地区スポーツ振興会、  
幕張西地区老人クラブ連合会、NPO法人幕張西スポーツクラブ、  
千葉県消防団第18分団第3部、幕張西コミュニティづくり懇談会、  
幕張西中学校PTA、幕張西小学校PTA

### 4 テーマ 地域の将来像と担い手

### 5 議事内容

#### (1) 開会及び参加者自己紹介

#### (2) 区長講話

配布資料により、地域コミュニティ及び幕張西地区の現状について説明。

#### (3) 意見交換

主な意見は以下のとおり。

##### ■担い手の確保

- ・自治会のもちつきに若い方に参加してもらおうと工夫し、参加はしてもらえた。しかし、若手参加者の一部から「せっかく行ったのにもちがつけなかった」との意見があった。この経験から、「参加してもらえばOK」ではなく、楽しく参加してもらえるようきめ細かな配慮・フォローが必要だと感じた。
- ・新しい参加者が楽しむことを、古くからの役員・参加者が知らないうちに阻害している可能性もある。これに注意した運営が必要。
- ・役員になりたてのころは、意見を言ってもだいたい却下された。それが不満で辞めてしまう若手もいた。先輩役員を立てることと、意見を主張していくことのバランスが大事。

- ・参加してもやりたいようにできない・やらせてくれないという意見はよく耳にする。若手にまずやらせ、ベテランはそれをフォローするようにすると若手の参加が進むのではないか。
- ・担い手は特定の方に偏る傾向にある。60歳代の定年退職された方に新たに担ってもらえるといいが、参加が進まない。役員の若返りを念頭に新しい方をどんどん登用し、70歳を超えたベテランはそれをフォローするのがよい。
- ・ベテランは、若手に任すべきところは任せ、若手の意見は親身に聞いてくれるのが理想。若手が自主性、当事者意識を持てる環境づくりが大事だ。
- ・40歳代でも社会貢献したい気持ちを持っている人は、少数ながらいる。役員からの声掛けなど、きっかけがあると担い手になってくれるのではないか。リクルート、背中を押すような行動が必要。
- ・地域活動歴はなかったが、声をかけられ入ってみて、同世代の方と一緒に活動することを楽しんでいる。若い世代でも、そういう人はたくさんいるのではないか。

#### ■各団体の活動

- ・この地区では急激に子供たちが増えている。幕張西スポーツクラブでは、子供に特化した活動に力を入れてきた結果、スポーツをする子供が3倍程度に増えた。参加者は主に子供と高齢者に偏る傾向にあり、今後は20～30歳代に魅力ある種目も考えていきたい。
- ・スポーツ人口を増やすためには、スポーツをするための場所・施設が必要。今は小中学校の体育館・校庭や公民館を利用しているが、勤労会館や大学などを借りたいと考えている。行政には、その手助け（使用料の減免等）をしてもらえるとありがたい。
- ・育成委員会には4つの部門があり、それぞれ活動の頻度・内容・時間帯が異なるため、日中に活動できる方、すぐに集まれる方など、役員の状況に応じて参加しやすい部門の仕事をお願いしている。
- ・育成委員会としては高齢者と子供たちが接する機会を増やし、結び付けたいと考えており、昔遊びを企画したり、踊りの場に子供たちに参加してもらったりと工夫している。学校の先生方も協力してくれており、ありがたい。
- ・消防団は、地域の行事に積極的に参加することを方針としている。地域の担い手として汗をかき、信頼を得ることが次世代の担い手確保につながる。
- ・ハナミズキの会（老人クラブ）では、毎週水曜日に集まり、体操・ウォーキング・お茶などを通じて仲間づくり、健康づくりの活動をしている。毎回の当番は、最初はだれもやりたがらなかったが、今は80歳代の方も進んで当番をやってくれるほどになった。
- ・高齢者実態調査で直接高齢者と接し、閉鎖的な方が多いなという感想を持っている。自分の殻に閉じこもって、そこから出ない方が結構多い。そういう方々を外に引っ張り出していければと思う。

- ・あんしんケアセンターが高齢者に個別に声掛けをして、サロンなどに出てくる方もいる。このような声掛けが、閉じこもりがちの高齢者が外出するきっかけとなる。今後もこうした取り組みが必要。
- ・地域団体と住民とのコミュニケーションの場があることが大事。また、団体間の横のつながりを強めることで、より広く地域を巻き込んで活動していけるのではないか。
- ・コミュニティ懇談会として、地域団体間の横のつながりを作る活動を主体的に進めていきたい。

#### ■課題、要望

- ・花見川区にある幕張南小学校の児童は、美浜区の幕張西中学校に通うことになるが、その通学路に街灯がなく、冬場は真っ暗な中を下校している。露出狂が出没していることもあり、パトロールはしているが、完全に見守ることはできない。通学路には街灯を整備してほしい。
- ・社会福祉協議会の地区部会は、地区で最も広い公民館の講堂で高齢者の食事会等をやっているが、広さの制約から 20 人程度しかお招きできない。もっと広い会場があると、より多くの方に参加いただけるのだが。
- ・この辺でみんなが集まれる施設はこの公民館だけである。お年寄りがふらっと行って集まれる場所・お茶が飲める場所があればと思う。テーマを決めた会合ではなく、雑談の中から新しい地域活動のアイデアが生まれる可能性もある。
- ・賀詞交歓会などの地域の行事に、地区内の大学の施設を利用させてもらえるとの話を大学側からいただいている。大変ありがたい。
- ・3~4 年前にこのような対話会が区役所であったが、その後のフィードバックがなかった。この場で出た意見に対して、行政はどう考えるのかを示してほしい。
- ・学校がない土曜日に公民館等の公共施設を勉強の場として開放し、地域の大人や先生が教える場があると助かる。
- ・公園や緑が多く過ごしやすい地区だが、個人的には公園の広さの割に公園灯が少ないと感じる。一方で、公園灯が明るいから一部を消灯してほしいとの要望もあるようだ。
- ・そごう物流センターの跡地（幕張西 4 丁目）は、何か建築される予定があるか。以前スーパーが建つ計画があると聞き喜んだが、いまだに空き地となっている。→市の関連部署に確認する。

（後日確認し、現時点で市が把握している建築計画はない旨を回答した。）

#### （4）閉会